

宝塚市商工会の37年、会報24号の歩みダイジェスト

地域社会の中で、商工会の果たすべき役割りを求め発信し続けてきました。

会報の歩み



- 第100号(63、7) 会報100号記念増大号。
- 第101号(63、7) 植木・花井業界が商工会へ参画。
- 第104号(63、11) 宝塚市国際交流協会が発足。
- 第106号(平成元、2) 1. 近畿圏のビックプロジェクト。
- 第107号(元、2) 兵庫県商工会連合会主催広報誌「コンクール」最優秀賞受賞。
- 第108号(元、3) 工業サミット市内企業から市へ提言。
- 第109号(元、4) 会員交流サロン新設。
- 第110号(元、6) 第5代会長に木島静治氏を選任、副会長に伊藤・森本氏。
- 第116号(2、1) 新春座談会「友金市長と歴代会長大いに語る」。
- 第129号(3、3) 正司新宝塚市長と語る「木島宝塚市商工会長」。
- 第138号(4、1) 商工会婦人部創立10周年記念大会。
- 第139号(4、2) 21世紀を担う若者が商工会・商工業者に期待すること(座談会)。
- 第151号(5、2) 宝塚市商工会創立30周年記念大会を開く。FAX情報システム導入へ。
- 第153号(5、4) 新商工会館オープン。
- 第156号(5、7) 宝塚市工業振興ビジョンを策定(工業部会)。
- 第160号(5、11) 宝塚特産品清酒「お宝塚」完成(商品開発委員)。
- 第165号(6、4) 商工会事務局スタッフ新体制。
- 第176号(7、3) 宝塚市内3駅前地区都市計画概要(震災復興基本方針決定)。
- 第178号(7、5) 第6代会長に宮本博司氏を選任、副会長に清家・神谷・松本・山内氏。
- 第179号(7、6) 工業団地竣工。
- 第180号(7、7) 震災復興特別事業推進「復興へのバックアップステッカー・ポスター」等を配布。
- 第182号(7、9) 被災会員のその後。

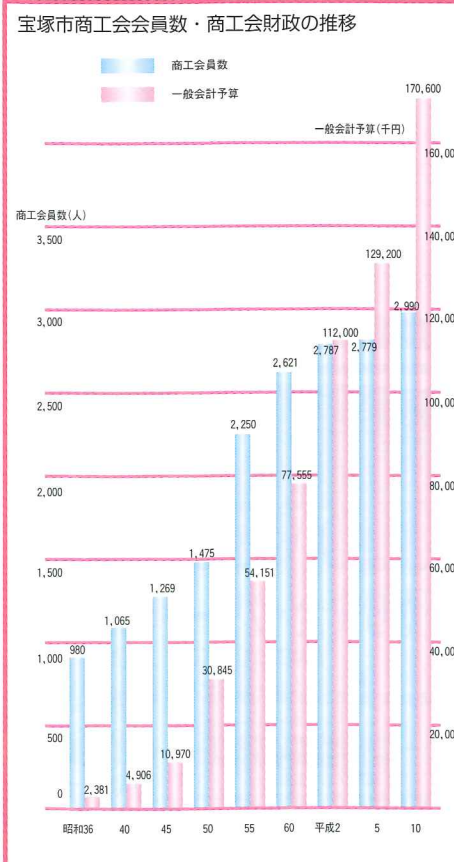
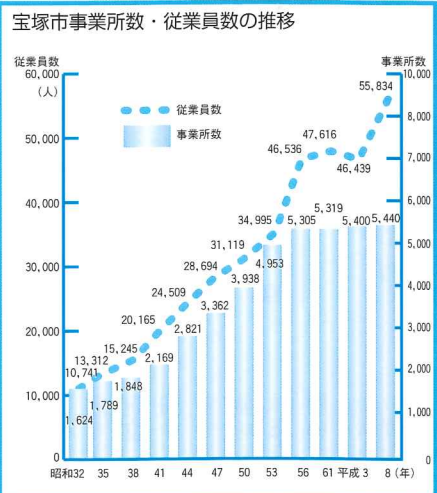
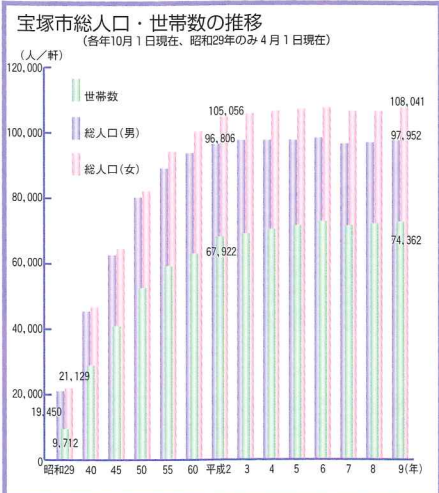
宝塚市の歴史

- 昭和63年11月 逆瀬川駅北地区に「アピアきた」誕生。
- 平成元年3月 非核平和都市を宣言。
- 平成元年3月 第1回花と緑のフェスティバルを開く。
- 平成元年4月 アメリカ合衆国ジョージア州オーガスタ市と姉妹都市提携を結ぶ。
- 平成元年10月 市立女性センターがオープン。
- 平成元年10月 第1回宝塚ベガ音楽コンクールを開催。
- 平成2年10月 公文書公開条例を施行。
- 平成2年10月 第1回宝塚女性まつりを開催。
- 平成3年2月 市長選挙で、正司泰一郎氏が5代目市長に当選。
- 平成3年10月 ベガホールで全国音楽ホールシンポジウム。
- 平成4年1月 栄町・湯本町など武庫川周辺が国から「マイタウン・マイリバー整備事業」に指定される。
- 平成5年4月 市立国際・文化センターオープン。
- 平成5年4月 宝塚駅前に再開発事業によって生まれた「ソリオ宝塚」が誕生。文化施設「ソリオ宝塚」がオープン。
- 平成5年6月 市役所の毎週土曜日閉庁が始まる。
- 平成5年10月 市立知的障害者支援センターがオープン。
- 平成6年4月 市制40周年記念式典を開催。
- 平成6年4月 市立手塚治記念館オープン。
- 平成6年8月 平和モニュメント完成。
- 平成6年9月 市立小浜宿資料館オープン。
- 平成6年10月 オーストリア共和国ウィーン市第9区と姉妹都市提携を結ぶ。
- 平成6年11月 宝来橋架け替え工事を完了。
- 平成7年1月 阪神・淡路大震災発生、市内に大きな被害をもたらす。
- 平成7年1月 市立選挙で正司泰一郎氏が、無投票で再選。
- 平成7年3月 市犠牲者合同慰霊祭開催。皇太子、同妃両殿下も出席。
- 平成7年4月 市立看護専門学校開校。

国内・国外のできごと

- 青函トンネル、着工以来18年8ヶ月振りに貫通。全長53.9km。
- 千葉県に東京ディズニーランド開園。
- 昭和59年 日米農産物交渉で、牛肉・オレンジなど日本の輸入割当量増加で合意。
- 新札登場。1万円札が福沢諭吉、5千円札が新渡戸稲造、千円札が夏目漱石1ドル100円台に。
- 昭和60年 「科学万博」つくば85、半年間開催。
- 電電公社、日本専売公社が民営化。日本電信電話株式会社、日本たばこ産業株式会社に男女雇用機会均等法が衆院本会議で可決・成立。
- 昭和61年 経企庁、急速な円高のため3年半振りに景気後退と発表。帝国データバンク、円高倒産が激増と発表。
- 昭和62年 地価上昇。7月1日現在、東京都心部の商業地が前年比50%以上、住宅地も都心部などで40%以上の上昇。
- 日銀、公定歩合を0.5%引き下げ2.5%に。
- 三井銀行・太陽神戸銀行が合併を発表。平成4年4月に「さくら銀行」に改称。
- 中国、天安門広場を占拠した学生らを武力制圧。死傷者多数(第2次天安門事件)。
- 都銀・地銀、全国オンライン提携スタート。
- 経企庁、景気拡大が4ヶ月続き、岩戸景気を抜き戦後2番目の長さで発表。
- 全国約600の職安の愛称が「ハローワーク」に決定。
- 大阪で「国際花と緑の博覧会」開催。
- ドイツ統一。国名はドイツ連邦共和国、首都はベルリン。
- 公定歩合4.5%に。この年、バブル経済が破綻。
- 湾岸戦争勃発。多国軍がイラク、クウェート内のイラク軍・施設に戦闘機、ミサイルなどで攻撃。
- 社会主義国家ソ連が解体。ゴルバチョフ大統領辞任。
- 規制緩和の改正大店法施行。証券不祥事相次ぐ。円相場、史上最高値の1ドル118円台にPKO(国連平和維持活動) 協力法適用第一号として、アンゴラ選挙監視団が出発。

宝塚市事業所の業種別数 (平成8年度)	
業 種 名	事業所数
卸売・小売業・飲食店	2,560
サービス業	1,689
建設業	403
不動産業	380
製造業	198
運輸通信業	84
金融・保険業	77
公 務	29
そ の 他	20
事業所合計	5,440



- 平成7年6月 「市震災復興計画」策定。
- 平成7年10月 フラワー都市交流連絡協議会に加盟。
- 平成8年3月 人権尊重都市宣言。
- 平成8年7月 オーガスタ・リッチモンド郡との姉妹都市継続宣言書に調印。
- 平成8年9月 市環境都市宣言。
- 平成9年4月 「インターネット」に市のホームページを開発。
- 平成9年5月 松江市で、宝塚市観光姉妹都市提携30周年記念式典。
- 平成9年8月 売布神社駅前地区市街地再開発事業に着手。
- 平成9年9月 花のみち周辺地区市街地再開発事業に着手。

- 平成5年 円相場、東京市場で110円を突破。日銀、公定歩合を0.75%下げ年1.75%と台に。JR東日本株上場。
- 日本初のプロサッカーリーグ、「Jリーグ」が開幕。一躍国民スポーツへ。
- 北海道南西沖地震発生、M7.8。奥尻島が壊滅的被害を受ける。
- 世界遺産委員会、日本の屋久島、白神山地、法隆寺、姫路城を「世界文化遺産」に登録。
- 経企庁、サラリーマンの6人に1人は3100時間を超す長時間労働と働きすぎを警告。
- 円相場、海外市場で100円を割り込み99円台に。製造物責任(PL)法が成立。金利自由化が完了。
- 北朝鮮、金日成主席が死去。追悼大会で金正日体制を明示。
- 関西国際空港が営業開始。
- 日銀、公定歩合を0.75%引き下げ、史上最低の年1%に(9月、0.5%へ)。円相場、東京市場で80円台を突破。
- 阪神・淡路大震災(M7.2)。地下鉄サリン事件。
- 第13回統一地方選挙前半戦で、東京は青島幸男氏が、大阪は横山ノック氏が知事に米の販売自由化スタート。首相、日本版金融ビッグバン構想を発表。
- 政府、住専経営実態資料を公表。7社の損失見込み額は6兆2738億円。
- 菅直人厚相、薬害エイズ事件で国の責任を認め、原告に謝罪。
- 携帯電話PHSの加入台数が10月末で2000万台突破。わずか8ヶ月で倍増。
- 容器包装リサイクル法施行。消費税の税率を3%から5%に引き上げ。
- リマの日本大使公邸占拠事件(17日目の解決)。
- 香港が英国から中国に返還される。
- ダイアナ元英皇太子妃がパリ・セヌ川沿いのトンネル内で交通事故死。
- 温暖化防止京都会議。
- 長野冬季オリンピック開催。
- 和歌山カレー事件。米英・イラク攻撃。

〔出典「昭和・平成史年表」平凡社〕